

平成28年度 学校経営ビジョン

1. 校訓

進んで学ぶ 明るく素直 強い身体

2. 本年度教育方針（学校経営ビジョン）

（1）【平成28年度テーマ】

～地域に根ざした魅力的な学校づくりの充実～

■学校づくりの四つの柱■

- 1) 確かな学力の向上に努めます
- 2) 豊かな心の育成に努めます
- 3) 身体づくり・健康づくり・安全指導の充実に努めます
- 4) 「根上中子育てネットワーク」を充実し、活気ある学校づくりに努めます

（2）【平成28年度学校づくりの重点】

1) 確かな学力の向上

「根っ中授業スタイル」に基づく授業力向上と
学力向上に努める

①「根っ中授業スタイル」の授業づくりと授業改善に取り組みます。

②家庭と連携して学習習慣の確立と定着に努めます。

③学習意欲を育てるための言語環境づくりに努めます。

- * 特別支援教育の視点での授業改善に努め、「根っ中授業スタイル」の確立に努めます。
- * 教科の垣根をなくし、提案授業、模擬授業等の設定による研修会の充実で、授業力の向上に努めます。
- * 「学力向上ロードマップ」に基づく組織的な学力向上策の推進に努めます。
- * 「ブライツスマイル」を活用し、生徒の生活習慣、学習習慣の確立に向けて丁寧な指導に努めます。
- * 意欲を引き出す教師の「言葉掛け」を中心に、生徒同士も含めて言語環境の充実に努めます。

2) 豊かな心の育成

成就感・達成感を味わ
わせる体験を通して、
一人一人が大切な存在
であることを自覚し、
思いやりの態度を育成
する

①特別活動の充実、特別な教科「道徳」の充実を通して、心の居場所となる学級・学校づくりに努めます。

②「松々レンジャーズ」の取り組みを核に地域連携・地域人材活用を進め、思いやりと意欲を育む体験活動の充実に努めます。

③学年会や相談会で生徒理解をきめ細かに行い、職員が指導について共通理解を深め、学校全体で積極的な生徒指導を推進します。

- * 校内研修会や若手塾の充実を通して学級経営力の向上に努めます。
- * 生徒の自主性を育てるために、特別活動（学級会活動、生徒会活動、学校行事）の改善・充実に努めます。
- * 松々レンジャーズをはじめとした体験活動の充実に努め、思いやりと自己有用感の涵養に努めます。
- * 生徒が目ざす姿を示した「あたりまえ十カ条」で積極的生徒指導を推進します。
- * 配置された様々な職種の職員が連携し、生徒の意欲を引き出す指導に努めます。
- * 教職員連携で生徒の様子を迅速かつ正確につかみ、きめ細かな指導に努めます。
- * SSW、SC、外部機関と連携し、いじめを見逃さない体制づくり、教育相談、生徒指導の充実に努めます。

3) 体づくり・健康づくり ・安全指導の充実

生活習慣の確立を支援
し、健康な身体づくり、
健康に対する自覚、安
全に対する意識向上に
努める

①健康な身体づくりや規則正しい生活に対する生徒の意識を啓発・向上するよう努めます。

②地域と連携し「根上中学校安全計画」に基づく安全指導の徹底に努めます。

③生徒、保護者が納得できる部活動運営に努め、心身の育成と活力ある学校づくりにつながる活動を推進します

- * 学校保健委員会への生徒参加を更に充実し、健康、生活などに対する意識向上に努めます。
- * ICT 機器活用、機器の危険性指導、疾病の治療率を上げる指導などに努めます。
- * 総合的な学習の時間を充実し、防災教育、環境教育、ふるさと教育に加え、安全教育の充実にも努めます。
- * 部活動を通して、健康な身体づくりと体力の向上に努めます。
- * 運営や指導に関して保護者との共通理解に努め、生徒がいきいき活動できる部活動づくりに努めます。

4)「根っ中子育てネットワーク」の充実

学校と保護者・地域の相互理解促進と子育てネットワークの充実に努める

- ①「学校支援地域本部」を活用し、学校と保護者、地域が連携を強め、地域に支えられ、地域の中心になる学校づくりに努めます。
- ②学校評議員会や関係者評価委員会を活用し、地域の関係機関等と連携して地域の子育てネットワークの充実に努めます。
- ③活用される学校ホームページの改善をはじめ、情報発信体制の整備充実に努め、保護者・地域に広く学校の取り組みを発信します。

- * 「学校支援地域本部」を充実し、地域の教育力を活用できる学校づくりに努めます。
- * 学校関係者評価委員会、地域支援本部等を充実し、地域の声を本校教育に活かすよう努めます。
- * PTA活動と連携し、行事等の充実や教育課題の克服に向けて共通行動できるように努めます。
- * 「各種たより」「学校ホームページ」を充実し、情報発信を通して開かれた学校づくりに努めます。
- * 会議の精選や合理的な運営に努めるとともに、地域人材や学生を活用し、生徒への指導時間、部活動の指導時間が充実するように努めます。

(学校経営構想図)

